

<p><b>生徒の実態</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○素直で、学習意欲は高い</li> <li>○社会経験や直接体験の不足</li> <li>○自尊感情が低い</li> <li>○コミュニケーション能力の不足</li> </ul>
--

<p><b>学校教育目標</b></p> <p>〈校訓〉 自知 自尊 自制</p> <p>学ぶことと生きることという2つが1つになる生徒の育成 ～地域の未来を生きるチャイムのない学校へ向けた 開発的生徒指導を通して～</p>
--

<p><b>保護者・地域の願い</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○思いやりのある豊かな心の育成</li> <li>○基礎・基本の確実な定着と深化</li> <li>○国際社会に適應できる生徒の育成</li> <li>○コミュニケーション能力の育成</li> </ul>
---

<p><b>目指す生徒像</b></p> <p><b>「自らを大切に、ともに高めあう生徒」</b></p> <p>① あいさつができる生徒 [自知]    ② 掃除ができる生徒 [自尊]    ③ 自分たちで授業をつくり、ともに行うことができる生徒 [自制]</p>
---

<p><b>生きる力(育てたい資質・能力・態度)</b></p> <p>① 自らを律しつつ、他人と協調し、他人を思いやる心や感動する心    ② 知的的好奇心や探求心をもって、自ら学ぶ意欲や主体的に学ぶ力 ③ 自分の力で論理的に考え、判断する力    ④ 自分の考えや思いを的確に表現する力    ⑤ 問題を発見し、解決する能力</p>
--

<p><b>キャリア教育指導目標</b></p> <p><b>「自己の個性を理解し、将来、社会人・職業人として自立していくために必要な意欲・態度や能力を身に付ける。」</b></p> <p>①肯定的自己理解と自己有用感を得る。    ②興味・関心等に基づいた職業観・勤労観を身に付ける。 ③進路計画を立案し、現時点で適切な進路選択ができる。    ④生き方や進路について現実的に考え、探求できる。</p>
--

育てたいキャリア発達に関わる能力や態度(基礎的・汎用的能力)			
人間関係形成・社会形成能力	自己理解・自己管理能力	課題対応能力	キャリアプランニング能力

キャリア教育学年指導目標		
第1学年	第2学年	第3学年
<p><b>自己理解「自分を知る」</b></p> <p>1 中学生としての自覚を持たせ、自分の集団の一員としての役割を理解させる。 2 自己の個性を理解させ、自己と他者の違いに気づかせ、尊重しようとする態度を養う。 3 身近な職業について知り、働くことの意義を考えさせ、自分の進路を考えていく基礎を作らせる。 4 進路に関心を持たせるとともに、夢を実現するための努力や現在の生活の大切さに気づかせる。</p> <p>啓発的・体験的学習 「職業インタビュー」「ゲストティーチャーに学ぶ会」</p>	<p><b>自己啓発「社会を知る」</b></p> <p>1 中堅学年としての自覚を持たせる。 2 啓発的な体験活動を通して、社会生活についての見識を広めるとともに、自己理解の深化を図りながら、進路を選択していく力を養う。 3 将来への夢や希望を大切にさせ、よりよい自分を目指して自らの課題を見いだしていくことの大切さを理解させる。 4 学ぶ機会や制度について知り、自分の進路への計画を立てようとする態度を養う。</p> <p>啓発的・体験的学習 「マナー講座」「職場体験学習」「ゲストティーチャーに学ぶ会」</p>	<p><b>自己実現「進路を選択する」</b></p> <p>1 最上級生としての自覚と責任を持たせる。 2 社会の一員としての義務と責任を理解させる。 3 自己を総合的に理解させ、進路の具体的な情報、知識を得させながら、将来への展望を持たせ、進路選択の能力を高めさせる。 4 中学校卒業後の適切な進路を、自らの意志と責任において選択させ、将来設計を達成するための困難を克服しようとする態度を養う。</p> <p>啓発的・体験的学習 「先輩と語る会」「高校体験入学」「国際交流会」</p>

各領域とキャリア教育の関係				
各教科(選択教科)	総合的な学習の時間	特別活動	道徳教育	その他の教育活動
<ul style="list-style-type: none"> <li>・個性や能力の伸長をめざして、個々の課題解決を支援し、学ぶ楽しさや達成感を体得させる中で、思考力を培い、生涯を通じて学び続けていく資質・能力を育てる。</li> <li>・学ぶことの意義を身をもって体得させ、社会生活や将来の職業生活における必要性や有用性を認識させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体験活動の主たる場として、問題の解決や探究活動に主体的、創造的に取り組む態度を育て、自己の生き方を考えることができるようにする。</li> <li>・地域社会との関わりを通して社会のルールや社会の一員としての自覚を持たせるとともに、自分のよさや可能性を知り、自己を生かそうとする態度を養う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集団活動を通して、集団の中の自分の役割と責任を理解させ、集団のために進んで力を尽くそうとする態度や能力を養うとともに、自己の有用感を得させる。</li> <li>・集団活動を通して、人間関係を築く力や コミュニケーション能力を培う。</li> <li>・進路の問題を自分自身の問題として受け止め、自分自身で解決する過程を通じて、自らの意思と責任で進路を選択・決定する能力・態度を身に付けさせる。</li> <li>・自己理解を深めさせ、望ましい勤労観、職業観を培う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人とのかかわりを重視し、互いに認め合い、生かし合う人間関係を作ろうとする心情や判断力を培う。</li> <li>・勤労の尊さや意義を理解させ、奉仕の精神を持って、公共の福祉と社会の発展に努める態度を養う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日常の清掃活動、部活動等において主体的に活動する態度を育てる。</li> <li>・適切な教育相談を通して、生徒理解を深め、生徒自らの自己実現を援助する。</li> <li>・あいさつ運動、ボランティア活動に積極的に取り組み、思いやりの心や社会貢献の心を育てる。</li> </ul>

キャリア教育を推進するための基盤		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・3年間を見通した系統的・組織的な進路指導計画</li> <li>・ガイダンス機能(適切な情報提供や案内・説明、活動体験、各種の援助・相談活動)の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関係諸機関や家庭・地域との連携の強化</li> <li>・教職員の協働体制の確立と校内研修の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・開発的生徒指導、学年・学級経営の充実</li> </ul>

**目指す生徒像 「自らを大切にし、ともに高めあう生徒」**

① あいさつができる生徒 [ 自知 ] ② 掃除ができる生徒 [自尊] ③ 自分たちで授業をつくり、ともに行うことができる生徒[自制]

**キャリア教育指導目標**

**「自己の個性を理解し、将来、社会人・職業人として自立していくために必要な意欲・態度や能力を身に付ける。」**

①肯定的自己理解と自己有用感を感得する。 ②興味・関心等に基づいた職業観・勤労観を身に付ける。  
③進路計画を立案し、現時点で適切な進路選択ができる。 ④生き方や進路について現実的に考え、探究できる。

育てたいキャリア発達に関わる能力や態度(基礎的・汎用的能力)			
人間関係形成・社会形成能力	自己理解・自己管理能力	課題対応能力	キャリアプランニング能力
多様な他者の考えや立場を理解し、相手の意見を聴いて自分の考えを正確に伝えることができるとともに、自分の置かれている状況を受け止め、役割を果たしつつ他者と協力・協同して社会に参画し、今後の社会を積極的に形成することができる。	自分が「できること」「意義を感じること」「したいこと」について、社会との相互関係を保ちつつ、今後の自分自身の可能性を含めた肯定的な理解に基づき主体的に行動すると同時に、自らの思考や感情を律し、かつ、今後の成長のために進んで学ぼうとする。	仕事をする上での様々な課題を発見・分析し、適切な計画を立ててその課題を処理し、解決することができる。	「働くこと」の意義を理解し、自らが果たすべき様々な立場や役割との関連を踏まえて「働くこと」を位置付け、多様な生き方に関する様々な情報を適切に取捨選択・活用しながら、自ら主体的に判断してキャリアを形成することができる。
他者の個性を理解する力、他者に働きかける力、コミュニケーション・スキル、チームリーダーシップ等	自己の役割の理解、前向きに考える力、自己の動機づけ、忍耐力、ストレスマネジメント、主体的行動等	情報の理解・選択・処理等、本質の理解、原因の追究、課題発見、計画立案、実行力、評価・改善等	学ぶこと・働くことの意義や役割の理解、多様性の理解、将来設計、選択、行動と改善等

指導目標	発達を促すために育成することが期待される能力・態度		
	第1学年	第2学年	第3学年
肯定的自己理解と自己有用感の獲得	<人間関係形成・社会形成能力> ・自分のよさや個性が分かり、自己と他者の違いに気づき、尊重する。 ・新しい環境や人間関係に適応する。 ・人間関係の大切さを理解し、コミュニケーションスキルの基礎を習得する。 ・自分の悩みを話せる人を持つ。 <自己理解・自己管理能力> ・自分の役割やその進め方、よりよい集団活動のための自分の役割やその方法が分かる。	<人間関係形成・社会形成能力> ・自分の言動が相手や他者に及ぼす影響がわかる。 ・リーダーとフォロワーの立場を理解し、チームを組んで互いに支え合いながら仕事をする。 <自己理解・自己管理能力> ・社会の一員としての自覚を持ち、自分の果たすべき役割について考える。	<人間関係形成・社会形成能力> ・自分のよさや個性がわかり、他者のよさや感情を理解し、尊重する。 ・他者に配慮しながら、積極的に人間関係を築こうとする。 <自己理解・自己管理能力> ・体験活動を通し、社会における様々な役割を理解するとともに、社会と自己の関わりから自分の特徴に気づき、自分らしい生き方について考える。
興味・関心等に基づく職業観・勤労観の形成	<キャリアプランニング能力> ・将来の夢や職業を思い描き、自分にふさわしい職業や仕事への関心・意欲を高める。	<キャリアプランニング能力> ・体験等を通して、勤労の意義や働く人々の様々な思いが分かる。 ・様々な職業の社会的役割や意義を理解し、自己の生き方を考える。	<課題対応能力能力> ・産業・経済の変化に伴う職業や仕事の変化のあらましを理解する。 <キャリアプランニング能力> ・自己の個性や興味・関心に基づいて、よりよい選択をしようとする。
進路計画の立案と暫定的選択	<課題対応能力> ・選択の意味や判断・決定の過程、結果には責任が伴うことを理解する。 ・学習や選択の過程を振り返り、次の場面に生かそうとする。	<課題対応能力> ・将来への夢を達成する上での現実の問題に直面し、課題に積極的に取り組み、主体的に解決していこうとする。 <キャリアプランニング能力> ・進路計画を立てる意義や方法を理解し、自分の目指すべき将来を暫定的に立案する。	<自己理解・自己管理能力> ・係・委員会活動や職場体験学習等で得たことを以後の学習や選択に生かす。 <課題対応能力> ・将来の進路希望に基づいて当面の目標を立て、その達成に向けて努力する。
生き方や進路に関する現実的探索	<キャリアプランニング能力> ・将来の職業生活との関連の中で、今の学習の必要性や大切さを理解する。 ・様々な職業の社会的役割や意義を理解し、自己の生き方を考える。	<キャリアプランニング能力> ・上級学校等の種類や特徴及び職業に求められる資格や学習歴が分かる。 ・日常生活や学習と将来の生き方との関係を理解する。	<キャリアプランニング能力> ・教員や保護者と相談しながら、当面の進路を選択しその結果を受け入れる。 <自己理解・自己管理能力> ・よりよい生活や学習、進路や生き方等を目指して、自ら課題を見出していくことの大切さを理解する。
	<課題対応能力> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生き方や進路に関する情報を、様々なメディアを通して調査・収集・整理し、活用する。</li> <li>・必要に応じ、獲得した情報に創意工夫を加え、提示・発表・発信する。</li> </ul>		